

# 地震災害

## 今

## 自分たちでできる備え



令和6年1月1日に石川県能登半島で最大震度7の大きな地震が発生。能登地方を中心に甚大な被害を与え、大きな爪痕を残しました。

地震は、いつ、どこで発生するか分かりません。大規模地震の発生に備え、今できることを考えてみましょう。

問い合わせ 市民安全課 ☎552・1116

### 災害への備え＝日々の備え

テレビの正月番組から流れる緊急地震速報、繰り返される大津波警報、次々に報道される被害の状況。令和6年1月1日に発生した能登半島地震は、いづどこで起こるか分からない地震災害の現実を私たちに突きつけました。

今回の地震では、299人が亡くなられており、住家被害では全壊が6,227棟、半壊が20,589棟(7月30日現在)ありました。また、地震発生直後には開設された1329カ所の避難所に最大51,605人が避難しました。

被災地支援に赴いた職員からは「被害は想像以上」との報告があり、半年以上たった今でも復旧が進んで

いない手つかずの場所があります。地震の発生は防げませんが、日頃から「備えがあれば、被害を少なくすることはできます。」自分たちでできる備えを考えてみましょう。

### 実態に即した防災訓練

そのひとつが防災訓練です。7月7日には、西紀中地区において、地震発生を想定した総合防災訓練を行いました。今回、初めての試みとして、できるだけ災害時の実態に即した訓練内容としました。まず、会場の西紀小学校体育館を一時的に停電状態とし、発電機により照明や扇風機などの電源を確保しました。次に、地域の方が避難所運営を担うことをイメージし、参加者による段ボールベッドの組み立てや簡易パーテーションの設置などの体験も行いました。

また、高坂、倉本、坂本、栗柄自治会では、土砂災害により集落が孤立したとの設定のもと、陸上自衛隊と警察署の連携による救助訓練に取り組みました。参加者からは「災害時に何をすべきかを考える機会になった」「実践することが大事だと感じた」などの声が聞かれました。



### 頼りになる地域のチカラ

災害時には、行政など公的機関の支援が行き届かないことがあります。職員が避難所運営支援に赴いた石川県珠洲市では、避難所54カ所のうち、地元の公民館や集会所、自宅の空きスペースを開放するなどした自主避難所が38カ所にのびりました。自主避難所では、地域の助け合いと工夫により、主体的に生活空間を確保されていて、地域コミュニティの大切さを改めて感じました。

### 大きな被害をもたらす

#### 御所谷断層

近い将来、地震の発生が危惧されているのが「南海トラフ地震」です。しかし、それよりも市内で、最も大きな被害をもたらすといわれているのが、加東市から丹波篠山市にかけての国道372号沿いにある「御所

谷断層帯」です。この断層が30年以内に動く確率は0.001割未満。一見、確率は低く感じますが、阪神淡路大震災も発災前には30年以内の発生確率は0.02割から8割と「言われていました。」起こるかもしれない」と備える意識を持つことが大切です。

### 日常生活で考える備え

皆さんは、消毒液や胃腸薬などを常備されていますか。ビールやコーヒーなどの飲料品もケース単位で購入し、なくなれば買い足されると思っています。このことを、食糧や水などの備蓄に置き換えてみてください。そうすれば、防災への備えは、特別なことではなく、「日常生活の一部になるのではないのでしょうか。日常でできる災害への備えを掲載しました。ぜひ、実践してみてください。

#### 例えば

- ・ローリングストック法(備えて、使って、買い足す)による食糧等の備蓄(最低3日分を推奨)
- ・家具の固定と置き方の工夫(寝床や部屋の出入り口に倒れないよう角度を変えるなど)
- ・家族内で安否確認方法や避難等集合場所、非常持出品についての情報共有
- ・ハザードマップなどで危険箇所を確認(浸水、土砂災害)

## 災害への備えとして、「フェニックス共済」にご加入ください

災害への備えの1つとして、兵庫県には住宅再建共済制度「フェニックス共済」があります。このフェニックス共済は、住宅を所有している方に加入いただき、平常時から資金を寄せ合うことで、災害発生時に被害を受けた住宅の再建・補修を支援する制度です。

いざというときのわが家の安全・安心のためにも、ぜひご加入ください。あらゆる自然災害が対象で築年数等に関係なく、年額掛金5,000円で最大600万円の給付が受けられます。

### フェニックス共済加入説明会開催

とき 9月19日(木)～20日(金)  
10月10日(木)～11日(金)  
10:00～15:00

ところ バザールタウン篠山  
NEWS館 1階広場

問い合わせ 丹波県民局 総務防災課  
☎0795-73-3762



# 耐震改修で倒壊を防ごう

昭和56年5月31日以前に着工した住宅は耐震診断が必要です

皆さんは、家屋の耐震診断・耐震補強などの耐震対策はお済みですか。住宅の耐震補強をしておけば、倒壊という大きな被害につながる事態は避けることができます。大地震から自分自身や家族の命を守るためにも、住宅の耐震化に取り組みましょう。

問い合わせ 地域計画課 ☎552-1118



## 耐震改修が生命を救う

平成7年(1995)1月に発生した阪神・淡路大震災では、約9割の方が家屋の倒壊などが原因で亡くなりました。そして、現在の耐震基準を満たさない昭和56年(1981)5月以前の建物に被害が集中していたことも明らかになっています。

御所谷断層帯は、市内で最も大きな直下型地震を引き起こす可能性があります。想定される最大震度6強の地震が発生した場合、揺れによる家屋被害全壊425棟、半壊3,197棟が予測されています。被害を最小限にとどめるためには、今からできる限りの備えをしておくことが必要で、建物の耐震化は有効な手段のひとつです。

昭和56年5月以前に着工した木造住宅は大地震で倒壊する可能性が高く、新しい耐震基準では震度6強の揺れでも家屋が倒壊・崩壊しないことを目標としています。建物が倒壊さえしなければ命を守る可能性が高まります。市では、耐震診断と耐震改修工事に対して助成を行っています。ぜひ一度、耐震診断を受けてみてください。

## 住宅の耐震化促進事業

### 簡易耐震診断推進事業

市では、耐震診断を希望する住宅へ耐震診断技術者を派遣し、耐震性の調査・診断を行います。

#### 【対象住宅】

昭和56年5月31日以前に着工された住宅 ※次の場合は対象外。

- ・ツーバイフォー工法、丸太組工法およびプレハブ工法の住宅
- ・住宅として使用する延床面積が全体の2分の1以下である住宅

#### 【診断費用】

申込者の1割負担(ただし、戸建て木造住宅は無料)

### 住宅耐震改修計画策定費補助

#### 【対象住宅】

昭和56年5月31日以前に着工された次の条件を満たすもの

- ・違反建築物でないもの
- ・耐震診断の評点が「0.7以上1.0未満」「0.7未満」の住宅
- ・兵庫県住宅再建共済制度に加入している住宅または加入する住宅

#### 【対象となる費用】

耐震改修計画策定とそれに伴う耐震診断に要する費用

#### 【補助金額】

- 戸建住宅Ⅱ対象となる費用の3分の2以内(上限20万円)
- 共同住宅Ⅱ対象となる費用の3分の2以内(上限12万円/戸)

### 住宅耐震改修工事費補助

#### 【対象者】

市内に対象となる住宅を所有し、所得が1,200万円(給与収入のみ)の場合は、給与収入が1,395万円以下の市民の方

#### 【対象住宅】

耐震診断の評点が「0.7以上1.0未満」「0.7未満」の住宅

#### 【補助金額】

- 戸建住宅Ⅱ対象となる費用(50万円以上もの)の5分の4以内(上限100万円)
- 共同住宅Ⅱ対象となる費用の5分の4以内(上限40万円/戸)

### 簡易耐震改修工事費補助

#### 【対象者】

住宅耐震改修工事費補助と同じ

#### 【対象住宅】

耐震診断の評点が「0.7未満」の住宅

#### 【対象となる費用】

耐震性能を改善するための耐震改修計画の策定と、それに伴う耐震診断や耐震改修工事に関する費用

※耐震性能の改善とは、改修後の耐震診断の評点が「0.7以上1.0未満」となること

#### 【補助金額】

対象となる費用(50万円以上のもの)の5分の4以内(上限50万円)

## インタビュー 《住まいの耐震化に取り組む事業者や住まいの耐震化利用者の声を紹介しす》

### 住まいの耐震化に取り組む事業者

耐震診断を行い、自分の家がどれだけ強度があるのかということは知っておくべきだと思います。そして、耐震改修工事をされる場合は、壁をはがすことなども多いので、改修に併せてリフォームを行うと、コストや手間などの面でも1番効率的です。耐震改修を行えば大地震が来ても家がつぶれない程度は強くなり、命を守ることができます。市の補助がありますので、積極的に活用し、安心して住める家にしましょう。

有限会社才本建築事務所  
一級建築士 水谷稜さん



### 住まいの耐震化利用者

自宅は132年前に建築された古民家で、昭和43年に一度改修を行いました。「地震が発生した場合に、瓦屋根の重さで家自体が押しつぶされるのでは」との心配がありました。そこで、自宅のリフォームを考えていたときに、才本建築事務所さんの提案もあり、耐震改修工事を行っていただきました。工事を終えて、建物の強度も向上し、とても安心して住んでいます。少しでも安心して暮らすために、皆さんも耐震診断を受けてみてはいかがでしょうか。

たかはしとものり  
高橋智徳さん



### 耐震診断で分かる家屋の評点

耐震診断では、耐震性を数値(評点)で評価し、地震で倒壊する可能性を3段階で判定します。

評点	評価
1.0以上	安全です
0.7以上 1.0未満	やや危険です
0.7未満	危険です

### 耐震化までのステップ

#### ①耐震診断

昭和56年5月31日以前に着工された住宅が対象 ※木造住宅は無料

#### ②耐震改修計画

#### ③耐震改修工事



4月 Open!  
きく・かたる  
寺カフェ



住職 酒井裕園さん

悩みや不安を吐き出せる場所、そして、専門的なサポートにもつながれる場所として、地域の方とカフェを開きました。認知症は誰もがなりうる病気です。吐き出して心の負担が軽減されればと思っています。

参加者の声

もの忘れが増えてきて

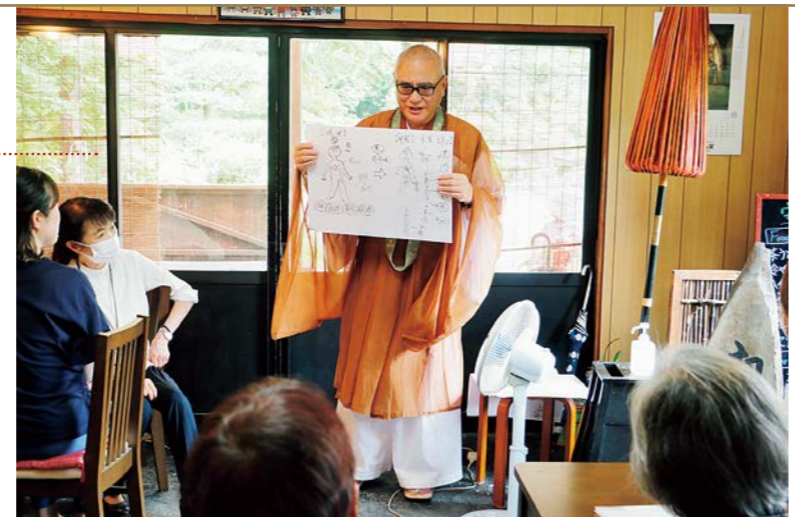
花の名前、人の名前などもの忘れが増えてきたので、認知症予防のために参加しています。家では難しい認知症予防も、近くだと参加しやすいですし、交流しながら予防できるのがいいですね。

身近な人が認知症に

今までは大丈夫と思っていましたが、夫が認知症を患い、身近なところで見ていたので、自分も気をつけようと思い、参加しています。

「認知症」だけじゃない

認知症のためより、みんなと話す場所、お話を聞ける場所として来ています。名前も「認知症カフェ」という名前ではないので来やすいです。



認知症と共に生きる  
認知症カフェ

9月21日は「認知症の日」。  
認知症は、誰もがなりうるものであり、自分や家族、友人など身近な人になることは決して珍しくありません。認知症と共に笑顔で暮らせるように、今からできることを皆で考えてみませんか？  
長寿福祉課 ☎552-5346



**誰もがなりうる「認知症」**  
認知症とは、さまざまな原因により、脳の働きが低下することと記憶や判断力が下がり、日常生活に支障が出ている状態をいいます。  
日本では、65歳以上の5人に1人が認知症、あるいはそのリスクを抱えています。認知症は誰もがなりうる病気です。ほとんどの人が向き合わなければなりません。  
今年の初めには、「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行されました。認知症になっても住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせる丹波篠山市

をめざして、一人ひとりが認知症を正しく理解し、お互いに支え合えることが大切です。  
**元気なうちから認知症予防**  
市内には認知症カフェが6カ所あります。  
認知症カフェは、認知症の方やその家族が安心して社会と関わりを持てる場でもあり、地域の方が楽しく認知症予防(進行予防)ができる場でもあります。  
また、自分や家族のことで不安なことがあれば、専門職のスタッフに相談することもできます。  
どなたでも参加できますので、気軽にお越しください。

9月は「みんなで認知症を考える月間」です

認知症のある方やその家族が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、さまざまな普及啓発を市内で一斉に実施します。

映画「オレンジ・ランプ」上映会

認知症フォーラムとして、認知症になってもその人らしく生きることをテーマとした映画を上映します。

日時 10月20日(日) 13:30～15:45(予定)  
場所 丹波篠山市民センター 多目的ホール  
定員 200人(申し込み不要)  
内容 [第1部] 認知症になっても自分らしく暮らせるように私たちができること  
[第2部] 映画「オレンジ・ランプ」上映(字幕あり)  
[展示] 認知症関連のパネル展示

認知症サポーター養成講座

認知症サポーターとは、認知症について正しく理解して認知症の人や家族を温かく見守り、自分のできる範囲で声かけなどの応援をする人です。高齢者や認知症について正しい知識を学んでみませんか？講師が無料で伺います。講座時間は60～90分です。詳しくはお問い合わせください。

市内で行う取り組み

- 市役所庁舎をオレンジ色にライトアップ (オレンジ色は認知症支援のシンボルカラーです)  
期間 9月21日(土)～27日(金)
- 市役所・公共機関・民間事業所等の窓口をオレンジ色に装飾、チラシ配置による啓発  
期間 9月1日(日)～30日(月)
- 商業施設での街頭キャンペーンの実施  
とき 9月7日(土)
- 市内高等学校の取り組み
  - 篠山東雲高等学校  
オレンジ色のマリーゴールドをプランターで栽培し、市役所を彩る
  - 篠山産業高等学校(インターアクト部)
  - 篠山鳳鳴高等学校(インターアクト部)  
街頭キャンペーンの協力

**認知症に関する相談窓口**  
[ 月～金曜日 8:30～17:15 ]  
※祝日、年末年始を除く。

- もの忘れ相談センター  
▽市役所 第2庁舎 長寿福祉課内 ☎552-5346
- 西部地域包括支援センター(西紀・丹南・今田)  
▽丹南健康福祉センター内 ☎594-3776
- 東部地域包括支援センター(篠山・城東・多紀)  
▽城東公民館内 ☎556-2340

参加費	日時	場所
200円	毎月第4月曜日 13時30分～15時30分 大國寺(安泰庵)	きく・かたる寺カフェ
100円	日置ふるさとステーション 10時～12時	かやのみカフェ
200円	西紀老人福祉センター 13時30分～15時30分	りんごカフェ
100円	毎月第3水曜日 13時30分～15時30分 古市コミュニティ消防センター	カフェやすらぎ
100円	毎月第3水曜日 10時～12時 旧保健センター(東雲診療所横)	たきたきカフェ
100円	毎月第2月曜日 13時30分～15時30分 城下まち会館	ホット・ひといきカフェ





# Focus —輝く人たち— Vol.015

ニアシ・リウさん、ファイト・ヘルテンシュタインさん(上段、左から)  
ウェンティン・カンさん、今井信子さん、小野ひとみさん(下段、左から)

## 丹波篠山で堪能 ヴィオラの響き 今井信子さん

**世界を代表する ヴィオラ奏者が集結**

世界的ヴィオリストとして活躍を続けられている今井信子さん。今年も今井さんをはじめ、世界を代表するヴィオラ奏者たちが「丹波篠山国際ヴィオラマスタークラス2024」に集います。

このヴィオラマスタークラスは、世界各地から選ばれた受講生が今井さんや3人の講師のもとで個人レッスンを受け、同じ舞台でアンサンブルを演奏する機会を持つ音楽教育プログラムです。今井さんはヴィオラを専門的に学ぶ若い演奏家を集めて育成していることが、以前、北海道小樽市で15年間にわたりマスタークラスを開催されました。

そして、次の開催場所を探していたところ、実行委員の小野ひとみさんの紹介により、2020年から丹波篠山で開催することになりました。

今井さんは「丹波篠山は自然が豊かで、伝統文化が息づく素晴らしい場所です。そして、何より田園交響ホールとの響き具合と、サイズもちょうどよく、とても気に入っています」と話されます。

今回、第5回目となるマスタークラスには、オーディションを経て選ばれた12人の若手ヴィオラ奏者が参加します。また今井さん

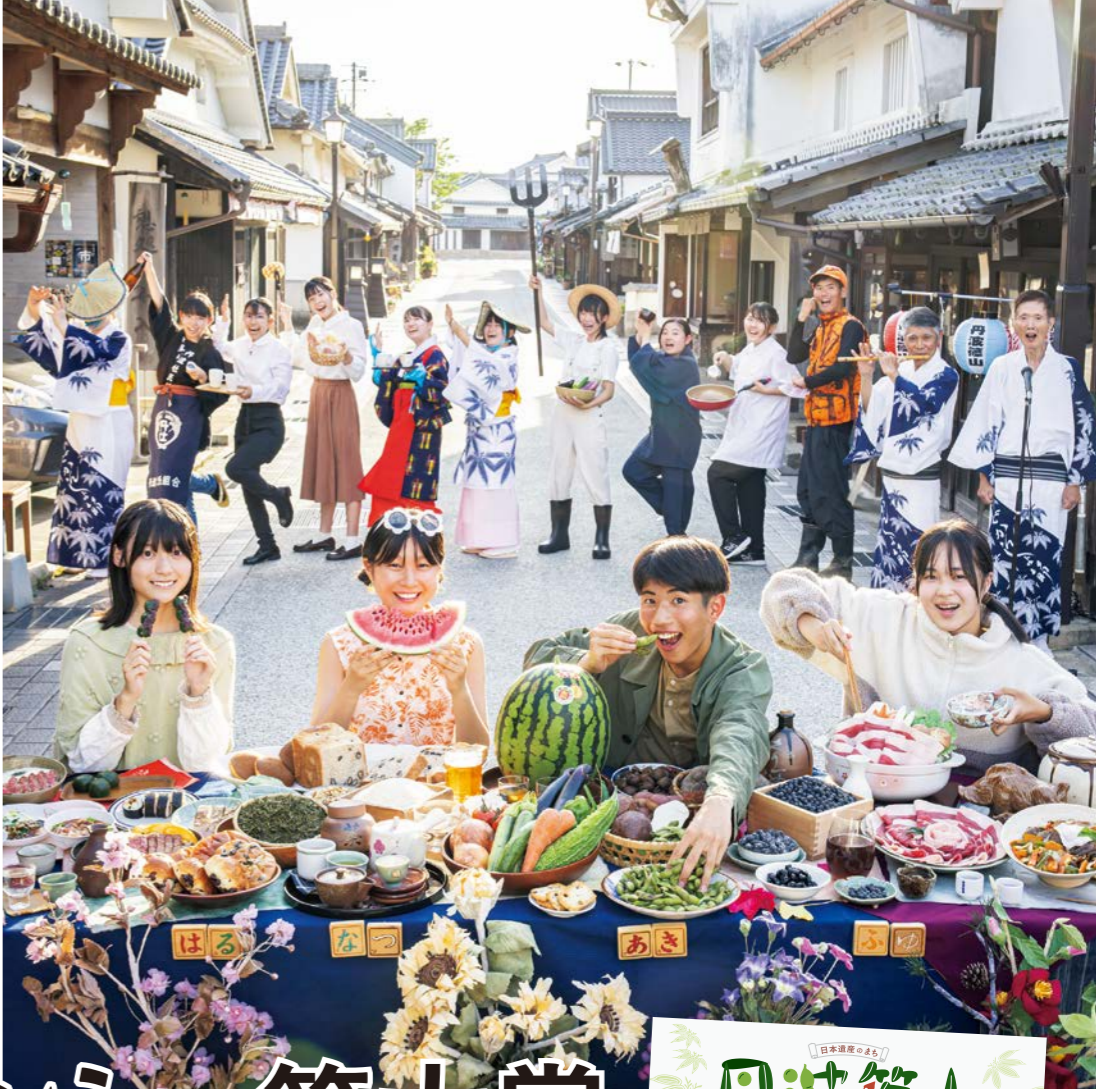
- ❖ マスタークラス公開レッスン(受講生のレッスン公開)  
9月13日(金)~16日(月・祝)、18日(水) 10:30~18:00 (昼休憩あり)
- ❖ マスタークラスコンサートⅠ 修了コンサート  
9月20日(金) 11:00~
- ❖ マスタークラスコンサートⅡ(講師4人による演奏)  
ザ・イマイ・ヴィオラ・クァルテットと仲間たち  
9月21日(土) 13:30~  
※会場はいずれも、田園交響ホール
- ❖ おでかけコンサート(市内各所での受講生によるコンサート)  
・9月17日(火) 18:45~=観月園遊会(丹波篠山市民センター)  
・9月18日(水) 12:15~=丹波篠山市役所本庁舎1階・市民ホール



が音楽家として信頼を寄せるファイト・ヘルテンシュタインさん、ウエンティン・カンさん、ニアシ・リウさんから講師によるレッスンの様子や、今井さんと3人の講師による四重奏を鑑賞することが出来ます。今井さんは「多彩に変化するヴィオラの音色を味わってほしいと思います。そして、音楽の喜びと楽しさを感じてもらえれば幸いです」と笑顔で話されました。



あさだまさし 浅田政志さん  
1979年三重県生まれ。写真家。日本写真映像専門学校研究科を卒業後、スタジオアシスタントを経て独立。NHK連続テレビ小説「ブギウギ」のポスター撮影や、映画「浅田家」(2020年公開)のモデルになるなど、多方面で活躍中。



## デカンショ節大賞 ポスターを製作

2015年4月に認定された日本遺産(ストーリータイトル:「丹波篠山デカンショ節—民謡に乗せて歌い継ぐふるさとの記憶—」)でもあるデカンショ節。このたび、日本遺産認定10年目を迎え、日本デカンショ節大賞の歌詞「丹波篠山街道歩きやうまい地酒と四季の食」をテーマにしたポスターを浅田政志さんの撮影で作成しました。ポスターは、デカンショ祭会場や市内の公共施設で掲示されています。

また、今回のポスター製作には、篠山鳳鳴高等学校写真部の皆さんがモデルとして協力し、貴重な体験をしました。

なお、多くの方の目に触れる場所での掲示にご協力いただける方には、市役所担当窓口でお渡しします。

問い合わせ ブランド戦略課 ☎552-0275



ポスターモデルとして協力された篠山鳳鳴高等学校写真部の皆さん

テーブルに置かれている丹波篠山の名物がたくさんあり、その多さに驚きました。

ポスター作成の裏側は細部までこだわりがあり、すごいと思いました。

今回、初めて被写体となり、新しいことに挑戦ができ、とても楽しかったです。